

令和 5 年度

農業農村整備優良地区コンクール

報 告 書



主催 全国水土里ネット

後援 農 林 水 産 省

農業振興部門
全国水土里ネット会長賞

静岡県 三方原用水篠原地区
篠原舞阪南部土地改良区・浜松土地改良区

定期的な水利施設の更新で玉ねぎ生産が拡大 生産者とのマッチングで荒廃農地解消を図る

位置図



日本一出荷時期が早い
「新玉ねぎ」の産地として発展

のため昭和35年度に着手した国営かんがい排水事業を皮切りに、定期的に整備事業や水利施設の補修・更新を行なってきました。

浜松市の南西に位置する三方原用水篠原地区は、天竜川の秋葉ダムを水源とする三方原用水の最南端にある遠州灘沿いの砂地地帯です。大正時代から玉ねぎの作付けが始まり、現在では日本一出荷時期が早い「新玉ねぎ」の産地として知られます。他地域との競合を勝ち抜くため、冬でも温暖な気候と長い日照時間を活かして早期に植え付けを行うことで、毎年1月頃から全国に向けていち早く出荷を開始しています。

風が強く乾燥の厳しい砂地地帯の本地区において、新玉ねぎの生産を拡大するには農業用水の安定供給が不可欠でした。そ

再生農地を意欲ある生産者に貸し出し 10年余りで53人の新規就農者が誕生

このように新玉ねぎの栽培によって農業生産額の拡大を図ってきた本地区ですが、近年は高齢化や後継者不足に伴う荒廃農地の増加が課題となっていました。

そこで三方原用水篠原地区では、土地改良区や営農者、地権者、行政、JAなどの農業関係者で構成する「浜松市南部地区農地利用調整協議会」の調整にもとづき、生産者と農地のマッチングを行なっています。協議会の構成員であり、平成22年にJA子会社として設立さ

れた株式会社とぴあふあー夢では、これまでに地区内の荒廃農地8・1haを再生し、規模拡大を目指す生産者や新規就農者に貸し出しています。



新玉ねぎ

これらの取り組みにより、本地区における玉ねぎの栽培面積は増加傾向に転じ、平成31年には農業生産額が年間12億円を超えました。また平成22年以降の新規就農者はのべ53人に上り、なかには2haを超える大規模栽培を行うケースもあるなど、意欲ある若手農業者が数多く誕生しています。

今後も荒廃農地の解消や担い手への農地集積・集約を推進し、新玉ねぎの一大産地としてさらなる発展を目指します。

事業概要

事業主体	静岡県
事業名	水利施設等保全高度化事業 (三方原篠原用水幹線地区) (三方原篠原用水支線地区)
工期	平成30年度～令和6年度(予定)
受益面積	134.1ha [水田 14.0ha、畑地 120.1ha]
受益戸数	1,144戸 (R5時点)
標準区画規模	—
1ha以上の区画合計面積	—
主要工事	三方原篠原用水幹線地区 管水路工、 三方原篠原用水支線地区 管水路工
関係土地改良区	篠原舞阪南部土地改良区 浜松土地改良区
関係市町村	浜松市